

ニュース さよなら原発 第50号（東海版第1号） 2017.1.3 発行



さよなら原発ひたちなか市実行委員会・東海第二原発問題相談会 共同発行
連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775
連絡先：東海村舟石川 847-19 塚原千枝子 TEL:029-282-9357
ホームページ： <http://sayonaragenppatu>

あけましておめでとうございます。

初夢は「原発のない」安全・安心 茨城

=思い起こそう 福島第一原発事故のこと=

爆発をくりかえし、どこまで放射能が拡散するのかと私たちを震え上がらせた、あの事故。

“原発はこれで終わりだ”と原発関係者も国民も直感した。絶望して何人もの人が命を絶った。福島県民 20 数万人が避難し、6年近くたつ現在も8万人余りが自宅に戻れないでいる。避難先でいじめられている福島の子もたちを思うといたたまれない。



避難計画が必要な電気はいりません



避難計画をつくるということは、福島のような事故がこの地域でも起こりうるということ。ざんこくな結末と隣り合わせの電力はいりません。東海第二原発がなくても電力の心配はありません。

=再生可能エネルギーに 未来が =

全世界の再生エネルギーは、発電容量（能力）で石炭を抜きトップに、発電量では23%（日本は14%）を占め、5年後には28%になると予測されています（IEA）。

茨城は太陽光発電が日本一です（表）。東電・常陸那珂火力発電2号（100万kW）が運転開始して3年がたち、県知事は、「茨城には1,300万kWの発電容量があり、首都圏の供給源として役割以上のことをやっている」と語っています。

太陽光発電の導入順位

県名	導入量*
① 茨城県	163.8
② 千葉県	142.7
③ 福岡県	138.7
④ 愛知県	137.1
⑤ 兵庫県	132.5
全国合計	2,831.2

*2016年現在 単位:万kW
(読売新聞)

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！

◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。

子どもたちに、安全な未来を

◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

原電は、今年秋、東海第二原発 運転延長 申請か？
いいえ、廃炉にさせましょう。



東海第二原発への 声

声

皆さんの **声・つばき**
お寄せ下さい。
TEL/FAX:029-273-4775

牛久保町 70 才代女性 (玄関先で)

女性「なに？ この前の事故の放射線のニュース？」

私「東海第二原発が、あと2年で寿命の40年になるんです。原電さんはさらに20年延長しようと頑張っている様で、その延長申請時期が今年秋なんです。お互い正念場です。」

女性「そりゃ、動いてもらっちゃ困るわ！ 東海村の人達は良い思いしてっから反対しねえべなあ！？ 私ら、もう年だからいいけど、若い人たちや可哀想だもんな、金は出ねえわ、原発事故が起きたら避難だなんて。」

庭の方からやって来たご主人「どうした？」
女性「東海第二原発再稼働反対のニュースだっさ」

ご主人「受取っとけ、受取っとけ」

講演会

脱原発と民主主義、平和の構築

講師 佐藤嘉幸氏

日時 1月22日(日)
15時~16時50分

場所 東海文化センター 会議室
資料代 500円

主催 茨城県九条の会連絡会

講師の近著(共著)

「脱原発の哲学」

佐藤 嘉幸, 田口 卓臣 共著

原発を 公害、差別、国策と大資本などの観点から多角的に論じて、脱原発実現への道を説く



原発事故があったら、私たちの町は、無事に避難できるかしら？



ひたちなか市主催の広域避難計画説明会(昨年秋)に参加して

- ・30キロ圏内 100万人の避難となれば渋滞は必至。避難は無理だ。
- ・仮に避難できて元的生活に戻れなければ意味がない。
- ・視覚障害のある私は、一人の時に事故が起きたらと思うと不安で一杯だ。

などの参加者の意見を聞き、東海第二原発は動かしてはならないと思いました。(市内女性)

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？



2016 11/29(火) 東海村村松の第一荒谷台住宅5号棟と(株)東海住宅に挟まれた小道を、原研通りから林(古墳跡?)方向へ50mほど入った角のマンホールの上、高さ1mで測定しました。写真の小道を右に折れると、東海中学校のグラウンドに出ます。

- 1) 単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)。
*「2011年の原発事故」前は $0.05\sim 0.02\mu\text{Sv/h}$ 。
- 2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi ; 測定者は正治。

セシウムからの放射線は測定を開始した2012年4月から3年後に約半分に減りました。今後は減り方がゆるやかになるので半減するのに約30年かかると推定されます。樹木の根元に濃縮されがちなので要注意です。